

菊井徹平、ジム歴代5人目の日本チャンピオンに輝く！

4月10日(月)、後楽園ホールで行われた日本スーパーフライ級王座決定戦。WBC世界スーパーフライ級6位・相澤国之の選手(三迫)VS日本スーパーフライ級1位・菊井徹平の一戦は、開始ゴング直後、右ストレートで飛び込んだ菊井が終始左ストレートを中心とした攻撃とサイドへ回るフットワークで優位に試合を進め、無敗の世界ランカー・相澤選手を3 - 0(98 - 94、98 - 94、97 - 94)の判定で下し、第31代目の日本スーパーフライ級チャンピオンに輝いた。プロ10年目にして初の日本タイトル挑戦をものにした菊井は北澤鈴春(Sフライ級)、岡田明広(フライ級)、星野敬太郎(ミニマム級)、木村章司(Sバンタム級)に続いてジム歴代5人目の日本王者となった。初防衛戦は8月14日(月)、後楽園ホールでWBC世界5位・有永政幸選手(大橋)との指名試合。

木村章司、WBA世界4位に完勝し、世界ランキング奪回！

4月8日(土)、後楽園ホールで行われた国際A級マッチ。WBA世界スーパーバンタム級4位(元WBA世界同級チャンピオン)・ヨーダムロン・シンワンチャー選手(タイ)VS前日本スーパーバンタム級チャンピオン・木村章司の一戦は、世界ランク奪回を狙う木村がヨーダムロン対策として自ら選んだ接近戦での打ち合いを展開。中盤からは再三左ボディブローを有効に決め、着実にポイントを稼いだ。8回には劣勢の展開に焦ったヨーダムロン選手のローブローによる2度の減点もあり、木村が3 - 0(98 - 92、98 - 93、98 - 96)の判定勝ちで強敵・ヨーダムロン選手を下した。この勝利で世界ランキング(15位以内)の返り咲きを確実なものとし、昨年9月、福原力也選手(ワタナベ)に日本タイトルを奪われて以来、約7ヶ月ぶりに世界戦線に戻ってきた。

試合結果(06年4/10迄) 日本タイトル挑戦経験者・立木正祥、圧勝！(4/8)

日付・場所	試合名・階級	選手名	結果	対戦相手
3月20日(月)後楽園	4回戦・バンタム級	小野 成大	3回TKO負け	茂木 公弘(ナカハマ)
・2勝目が欲しい小野。初回にダウンを喫し、相手のペースで試合が進んでしまう。3回、スタミナが切れたところで連打されTKO負け。小野1勝9敗2分				
3月30日(木)後楽園	東日本新人王T-ナマツ	伊藤 圭太	4回判定勝ち	山口 卓也(レイスポーツ)
・新人王戦初出場の伊藤。2回にダウンを喫するが、3回にダウンを奪い返す激戦を展開。最終回打ち勝って2 - 1の判定勝ち！伊藤3勝1KO2敗1分				
3月30日(木)後楽園	東日本新人王T-ナマツ	鎌田 剛幸	2回終了TKO勝	増田 岳之(ロッキー)
・新人王戦2度目の出場となる鎌田。初回からボディーから顔面へ巧くパンチをまとめて優勢。2回終了後、相手側が棄権しTKO勝ち！鎌田3勝1KO2敗3分				
4月6日(木)後楽園	東日本新人王T-ナマツ	田畑 光輝	4回判定勝ち	越知 俊光(T&T)
・新人王戦2度目の出場となる田畑。KO率100%の相手に2回、左ストレートでダウンを奪い、その後も優位に試合を進め、3 - 0の判定勝ち！田畑4勝2敗2分				
4月8日(土)後楽園	8回戦・バンタム級	立木 正祥	8回判定勝ち	木村 龍太郎(協栄)
・ランク復帰を狙う立木。初回から前ランカーの実力を発揮し優勢。相手の粘りで倒すことは出来なかったが、3 - 0の判定勝ち！立木11勝2KO6敗2分				
4月8日(土)後楽園	10回戦・56.0Kg契約	木村 章司	10回判定勝ち	ヨーダムロン(タイ) WBA世界4位
・世界戦以外は負けた事がないヨーダムロン選手を下した実績は高評価。福原選手(現日本王者)とのリベンジへの道が開き始めた。木村19勝7KO1敗1分				
4月10日(月)後楽園	4回戦・フェザー級	佐野 裕規	3回負傷判定負	後藤 俊光(金子)
・2勝目を狙う佐野。2回にダウンを喫し、3回偶然のバッシングで相手が負傷し続行不能。3回までの採点になりダウンが響き判定負け。佐野1勝1敗				
4月10日(月)後楽園	日本タイトルマッチ	菊井 徹平	10回判定勝ち	相澤 国之(三迫) WBC世界6位
・今回の勝利により日本タイトル獲得の他に世界ランキング(15位以内)入りも確実とした菊井はジム歴代3人目の世界ランカーとなる。菊井20勝4KO4敗				

試合予定 5/5佐藤昭(VS瀬藤戦)、5/15長岡知治(VS松崎戦)、重要マッチ目前！

日付	場所	選手名	戦績	ラウンド	クラス等
5月1日(月)	後楽園ホール	鎌田 剛幸	8戦3勝1KO2敗3分	4回戦	東日本新人王T(フェザー級)2回戦
5月5日(金=祝)	有明コロシアム	佐藤 昭	16戦6勝1KO10敗	8回戦	Sバンタム級(日本7位と対戦)
5月8日(月)	後楽園ホール	伊藤 圭太	6戦3勝1KO2敗1分	4回戦	東日本新人王T(Sバンタム級)2回戦
5月15日(月)	後楽園ホール	長岡 知治	11戦8勝4KO2敗1分	10回戦	60.0kg契約(日本7位と対戦)
5月18日(木)	後楽園ホール	増田 大氣	9戦5勝3KO3敗1分	6回戦	スーパーバンタム級
6月1日(木)	後楽園ホール	田畑 光輝	8戦4勝2敗2分	4回戦	東日本新人王T(フライ級)3回戦
6月9日(金)	横浜文化体育館	竹之下陽太	17戦6勝10敗1分	8回戦	スーパーフェザー級
同	同	今関 佑介	デビュー	4回戦	フェザー級
6月13日(火)	後楽園ホール	小林 拓也	5戦2勝1KO2敗1分	4回戦	東日本新人王T(バンタム級)2回戦
6月14日(水)	後楽園ホール	落合 賢	2戦1勝1KO1敗	4回戦	フライ級
7月2日(日)	大森ゴールドジム	入江 一哉	1戦1敗	4回戦	スーパーバンタム級